

動物実験に関する自己点検・評価報告書

酪農学園大学

2022年9月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
- 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
- ・酪農学園大学動物実験委員会規程（2008年2月制定、2019年2月改正）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」（以下「飼養保管基準」という。）と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に則って、酪農学園大学動物実験規程、同動物実験委員会規程が定められている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
- 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会を設置していない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
- ・酪農学園大学動物実験委員会規程（2008年2月制定、2019年2月改正）
- ・動物実験委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

飼養保管基準及び基本指針に適合した動物実験委員会が置かれている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料
・動物実験計画書
・動物実験計画[変更・更新]承認申請書
・動物実験結果報告書
・飼養保管施設設置[新規・更新・変更]承認申請書
・動物実験室設置[新規・更新・変更]承認申請書
・飼養保管施設及び実験室の廃止届
・動物実験自己点検票（様式2-1）
・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）
・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
・酪農学園大学動物実験委員会規程（2008年2月制定、2019年2月改正）
・酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準（2012年4月制定、2019年11月改正）
・動物の安楽死に関する指針（2009年4月制定、2015年2月改正）
・酪農学園大学における動物実験について（2008年4月制定、2019年7月改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験の実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料
・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
・酪農学園大学遺伝子組換え実験安全管理基準（2004年4月制定、2020年4月改正）
・酪農学園大学病原体等安全管理規程（2011年10月1日制定、2021年6月改正）
・酪農学園大学感染性廃棄物取扱規程（1995年6月21日制定、2012年10月改正）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
酪農学園大学動物実験規程、酪農学園大学遺伝子組換え実験安全管理基準、酪農学園大学病原体等安全管理規程及び酪農学園大学感染性廃棄物取扱規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
- ・飼養保管施設設置[新規・更新・変更]承認申請書
- ・動物実験室設置[新規・更新・変更]承認申請書
- ・飼養保管施設及び実験室の廃止届
- ・動物実験自己点検票（様式2-1）
- ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）
- ・酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準（2012年4月制定、2019年11月改正）
- ・酪農学園大学における動物実験について（2008年4月制定、2019年7月改正）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管施設等の設置と廃止に関する要件が規程等に定められており、確認に必要な各種書式等も適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
- ・酪農学園大学動物実験委員会規程（2008年2月制定、2019年2月改正）
- ・酪農学園大学動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

酪農学園大学大学動物実験規程等に基づいて、学長の諮問機関として委員会を開催し、関連事項に
関して審議した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験計画書審査記録
- ・動物実験計画書
- ・動物実験計画[変更・追加]承認申請書
- ・動物実験結果報告書
- ・動物実験自己点検票（様式2-1）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・バイオセーフティキャビネットの維持管理実施記録
- ・遺伝子組換え動物実験一覧表
- ・病原体等使用動物実験一覧表

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

法令に適合した動物施設であることを確認した。また、該当する実験について、事故等の報告はなかった。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準（2012年4月制定、2019年11月改正）
- ・微生物モニタリング記録（2021年度は、コロナ禍で実施せず）。
- ・2021年度実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）
- ・緊急時対応マニュアル
- ・逸走時対応マニュアル
- ・緊急連絡先

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物は適正に飼養保管されていた。また、特定外来生物飼養等許可証（許可番号 06001243）を取得し、ウシガエルの飼養についても毎年環境省に飼養数の増減を報告し、適正に行っている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・飼養保管施設設置[新規・更新・変更]承認申請書
- ・飼養保管施設及び実験室の廃止届
- ・既に承認されている学内の実験動物飼養保管施設とその承認番号
- ・2021年度実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

施設の設置時に動物実験規程に求める設置基準を満たしていることを委員会が確認しており、5年に1回の委員会視察と実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式2-2）の提出によって、空調設備等の老朽化の問題があるものの、概ね適正に維持管理されている事を把握している。

4) 改善の方針、達成予定時期

空調設備等の老朽化に関して、改善を求めている。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験従事者名簿（受講者数・実施時期含む）
- ・教育訓練資料・スライド

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

教育訓練の動物実験従事者名簿（受講者数・実施時期含む）によって基本指針に則した教育訓練が実施されていることを確認した。教育訓練の実施者は、実験動物医学専門医の資格を取得している。また、実験動物管理者は日本実験動物学会の実験動物管理者等研修会を受講し専門情報を修得した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・酪農学園大学動物実験委員会規程（2008年2月制定、2019年2月改正）
- ・酪農学園大学動物実験規程（2019年2月制定）
- ・酪農学園大学動物実験委員会委員名簿
- ・動物の安楽死に関する指針（2009年4月制定、2015年2月改正）
- ・酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準（2012年4月制定、2019年11月改正）
- ・動物実験に関する自己点検・評価報告書
- ・動物実験に関する検証結果報告書
- ・動物実験に関する各種データ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、酪農学園大学における動物実験規程等の情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当せず。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。